

平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立篠崎高等学校
全日制課程

1 計画の概要

(1) 中高連携事業の取組

「地域の中の学校」として、江戸川区立6中学校（鹿骨・篠崎・篠崎第二・瑞江・松江第三・小岩第二中学校）と連携し、教育活動の交流を深め、地域の活性化を導く学校づくりを推進する。

(2) 保育所や小学校との交流

2 実施内容

(1) 中高連携事業への取組

① 中学校への訪問授業（17時間、教員14名）

実施教科・科目：国語・数学・英語・理科・音楽・美術



剣道部活動交流



② 中学校の教員を対象とする授業公開と中高教員による教科別研究協議会及び全体会に126名参加

▲体験授業（美術）

③ 本校と連携中学校との連絡協議会（5回実施）

④ 部活動交流・合同練習（剣道部20回、テニス部3回、柔道部3回）

11月トライ&チャレンジキャンペーン部活動体験（剣道部など）

本校サッカー部生徒による瑞江中学校サッカー部生徒への技術指導

⑤ 本校文化部発表会への連携中学校の参加

（本校和太鼓部・演劇部・ダンス部・華道部・吹奏楽部、連携中学校吹奏楽・ダンス）

⑥ 本校施設を利用した体験授業（音楽・美術・家庭） 連携中学校3年生21名参加

⑦ 中学校と連携してのクリーン作戦

⑧ 進路講演会 篠崎第二中学校で本校進路指導主幹教諭が講演

(2) 保育所や小学校との交流

① 保育園児を体育祭に招待（江戸川区立東篠崎保育園、東篠崎第二保育園）

② 夏季休業日に江戸川区立保育園で保育体験を実施（13名が各5日間実施）

③ ダンス部生徒が江戸川区立鎌田小学校すくすくスクールで小学生にダンスを指導

3. 成果と課題等

【成果】

- ・今年度から連携中学校を5校から6校に拡大し、研究協議会の分科会を増やし2部構成とし、教科指導、生徒指導の在り方などについて、昨年度よりさらに相互理解を深めることができた。
- ・連携中学校教員及び生徒の本校の教育活動に対する関心及び理解を高めることができた。



【課題】

- ・教育課程での連携をどのように拡充していくか。 中高連携研究協議会（11月20日）
- ・文化部発表会を実施するに当たり、会場及び楽器などを運搬する予算を確保するとともに、生徒・保護者・地域住民へのPRを効果的に行い、会場に応じた入場者数を確保すること。
- ・研究協議会を実施する際に、本校と連携中学校間での日程調整が難しい。